

試験当日に発症してもあわてずに・・・

# “新型インフルエンザ” にはこう対処しよう！

2010年（以下、10年）入試は受験生と大学にとって、特別な入試になりそうだ。

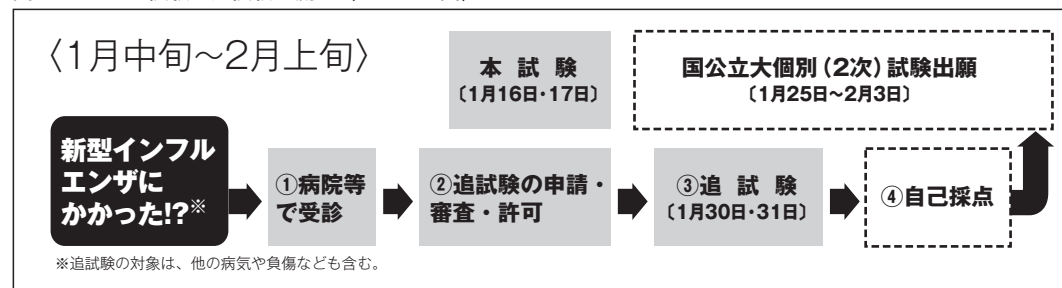
例年の季節性インフルエンザに加え、新型インフルエンザ（以下、新型）の感染が秋以降、急激に広がっている。感染した受験生の受験機会を確保するとともに、感染拡大を防止するために、各大学では追試験の実施など、10年入試に限った「特例措置」を検討している。

ここではセンター試験、国公立大個別（2次）試験、私立大一般入試の特例措置について、その概要を紹介する。万が一の場合があってもあせらず対応できるように、特例措置の概要を踏まえて、自分の出願校の対応について、ホームページ等であらかじめ確認しておこう。

## センター試験 追試験は1月30日・31日に実施！

センター試験（以下、セ試）は、10年度に限った特例措置として、本試験（1月16日（土）・17日（日））の2週間後、1月30日（土）・31日（日）に各都道府県に会場を設置し、追試験を行う（例年は1週間後、全国2カ所）。追試験の対象者は新型に限らず、他の病気や負傷なども含まれる。

図1. センター試験 追試験の流れ（イメージ図）



### ①病院等で受診

追試験の申請には診断書が必要となるので、ここで入手しておこう。診断書には治療期間の明記が必要。

### ②追試験の申請・審査・許可

次ページ「追試験の申請」を参照。申請時にその場で、提出された書類により審査を受け、「追試験受験許可書」が発行される。

また、セ試の追試験は日にち単位で認められる。つまり、1教科・科目を受験したあとで具合が悪くなくても、もうその日の追試験の申請はできないので、無理はしないように。

### ③追試験

1月30日・31日に各都道府県会場にて実施される。具体的な会場は、大学入試センターのホームページに掲載されている。

### ●追試験の申請（病気・負傷による場合）

※12月中旬までに受験票とともに発送される「受験上の注意」で必ず確認しよう。

#### 【申請受付時間】

- ・本試験前（1月12日～1月15日）…9:00～17:00
- ・第1日目（1月16日）…7:30～17:35
- ・第2日目（1月17日）…7:30～17:00

※第2日目になってから第1日目の追試験を申請することはできない。

#### 【申請方法】

**ア** 申請受付時間内に本人または代理人が、「受験票」と「追試験受験申請書」および治療期間の記載された「診断書」を持参の上、受験票に記載されている「問い合わせ大学」に行き、申請する。許可された場合は、追試験受験許可書が交付される。

**イ** 申請受付時間内に「問い合わせ大学」に行けない場合は、病気・負傷の状況等を、申請受付時間内に次の連絡先に電話連絡し、指示を受ける。

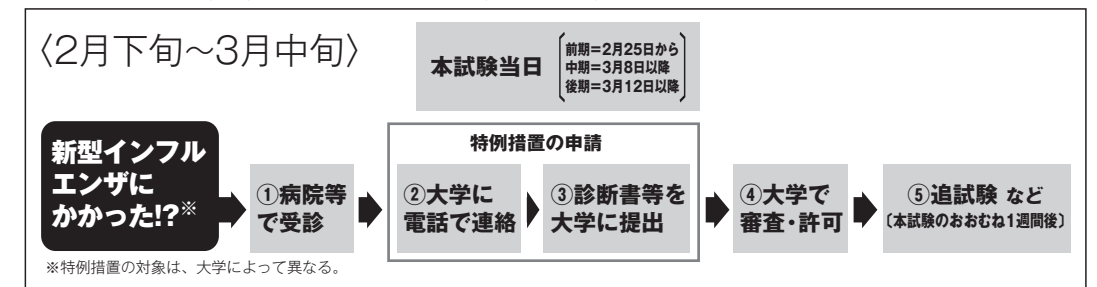
- ・本試験前…受験票に記載の「問い合わせ大学」
- ・試験当日…受験票の所在地欄にある「試験当日の電話」

（平成22年度「受験上の注意」より）

## 国公立大個別（2次）試験[前期・中期(公立大)・後期] 追試験実施は1週間後が多い！

11月下旬段階での本誌調査では、特例措置として追試験を予定している大学が多い。しかし、セ試単独での合否判定や、特例措置を取らない場合なども考えられる。また、セ試と異なり、特例措置の対象が新型に限られることもありえる。具体的な内容は、ホームページや募集要項での掲載以外に、受験票送付時に出願者に直接通知する大学もある。必ず確認しておくこと。

図2. 国公立大個別（2次）試験 特例措置の流れ（イメージ図）



### ①病院等で受診

診断書等の提出が本試験当日までに必要な大学もある。特に当日の朝、急に症状が出た場合は、すみやかに診察を受け、診断書を入手しよう。診断書には加療期間（治療している期間）の明記が必要。

### ②大学に電話で連絡

あらかじめ受付時間と連絡先部署、電話番号を確認。締切となる本試験当日は、朝の短い時間に受付が限られる場合が多い。できれば前日までに済ませておきたい。

### ③診断書等を大学に提出

提出方法は、「本試験当日中に代理人が持参」、

### ④自己採点

1月30日・31日の夜から、各日程の科目の正解が大学入試センターのホームページおよびモバイルサイトに掲載される予定。自分で採点をして得点を把握しよう。本試験の平均点（中間発表）は、1月20日に発表される予定だ。参考までに、自分の得点と比べてみよう。

国公立大個別（2次）試験の出願は2月3日まで。出願する場合は、冷静に判断し、迅速に手続きしよう。

「翌日までに速達で必着」など大学によって異なるが、いずれにしても協力者（家の人など）が必要だ。受験票のコピーや、独自の申請書が必要な大学もある。協力者がスムーズに申請できるように用意をしておけば安心だ。

### ④大学で審査・許可

提出された書類を大学が審査し、申請者に追試験など特例措置の許可を出す。

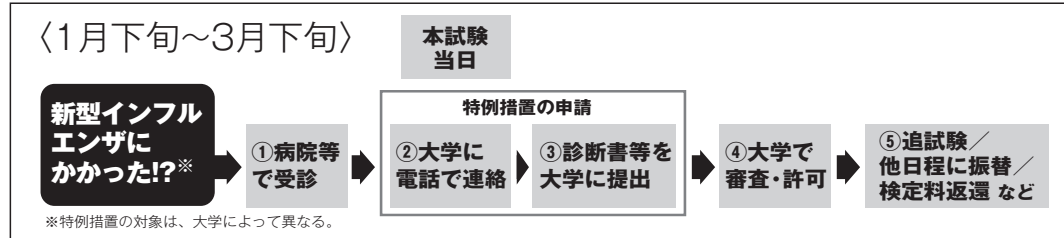
### ⑤追試験など

追試験の場合は、おおむね本試験の1週間後に行われる。無事に本試験を受験した場合でも、追試験の実施によって合格発表日などが変更される場合もあるので確認が必要。

## 私立大一般入試 「追試験」「振替」「検定料返還」の3パターン！

私立大では、国公立大と比べて特例措置の内容がさまざま。「追試験実施」のほか、「既存の他の日程・方式への振替」や、「検定料の返還」などもある。また、特例措置の対象となるのが「新型のみ」「新型・季節性インフルエンザを含む感染症」「インフルエンザに限らない」など、大学によって異なるので注意しよう。

図3. 私立大一般入試 特例措置の流れ（イメージ図）



### ①病院等で受診

セ試や国公立大2次と同様に、申請には診断書（加療期間が明記されているもの）が必要。ただし私立大では、提出期限が本試験日から若干余裕があり、病院での診察も比較的落ち着いて受けられるスケジュールの大学が多い。

### ②大学に電話で連絡

受付時間の締切は、本試験当日の「集合時間まで」「正午まで」などさまざま。本試験当日、急に症状が出た場合は、まず連絡すること。

### ③診断書等を大学に提出

「本試験後3日以内」など、数日余裕のあるパターンが多い。また、独自の申請書が別途必要な大学もある。

### ④大学で審査・許可

追試験等の詳細とあわせて大学から連絡が来る。②や③の段階で指示される場合もあろう。

### ⑤追試験／他日程に振替／検定料返還など

特例措置の内容は大学・日程によってさまざま。追試験の場合、実施日は本試験の1～3週間後、試験会場は本部キャンパスのみとなることが多い。また、本試験の日程ごとに追試験を実施する大学が多いが、法政大・明治大・立教大のように各日程を一括して、同一日に実施するところもある。

振替は、その大学の他の日程・方式を受験できる（検定料は不要）。科目・配点等が自分に適しているかチェックすること。

日程や会場の都合で、追試験や振替の受験が困難な場合、検定料を返還する大学もある。ただし、3月入試や後期募集などの最終日程では、特例措置を取らない場合もあるので注意が必要だ。

また、京都産業大・龍谷大・近畿大・大阪工業大・摂南大・武庫川女子大のように、追試験や振替ではなく、最初から「検定料返還」という対応を取る大学もある。大規模校の場合、首都圏では追試験一括実施、関西では検定料返還という傾向が見られる。

## セ試「追試験」と重なる入試 京都産業大・近畿大などの一部日程が重複！

例年、本試験の1週間後に行われてきたセ試の追試験が、10年度は特別に2週間後（1月30日・31日）になった。次ページでは、この日程繰り下げによって日程が重なってしまった入試を、国公立大の推薦・AO入試、私立大の一般入試に分けて紹介する。

教育学部のAO入試Ⅱの最終選抜、経済学部・

歯学部の推薦入試Ⅱが重なる岡山大では、セ試追試験の受験許可者を対象に、さらに追試験を実施する。また、AO入試Ⅱの第2次選抜が重なる九州大では、すでに日程変更を発表している（理・医・芸術工・農→1月23日、歯→2月2日）。このようにセ試追試験の該当者でなくても影響する場合がありますので、確認しておこう。（石井）

## ●セ試の追試験日（1月30日・31日）と日程が重なる入試の例

### 国公立大推薦・AO入試

#### ■推薦入試（セ試を課す）■

●山形大―理(数理科学, 物質生命化学, 生物, 地球環境), 工<昼>(情報科学, 電気電子工)【推薦Ⅱ】 ●浜松医科大―医(医学)  
●愛知教育大―教育(教員養成<初等教育[幼児教育, 情報, 国語, 社会, 数学, 理科, 家庭], 中等教育[国語・書道, 数学, 理科, 家庭, 英語], 特別支援学校, 養護教諭), 現代学芸<国際文化, 情報科学, 自然科学>【推薦B】 ●奈良女子大―生活環境(生活健康・衣環境, 生活文化) ●和歌山大―教育(学校教育<教育科学[特別支援教育学], 教科教育[技術または家庭], 児童教育>, 総合教育) ●岡山大―経済<昼>, 歯【推薦Ⅱ】 ●愛媛大―法文(総合政策<昼>), 理(数学), 工(機械工A, 機能材料工, 環境建設工), 農(生物資源)【推薦Ⅱ】 ●高知大―農【推薦Ⅱ】 ●秋田県立大―システム科学技術, 生物資源科学(応用生物学, 生物生産科学, 生物環境科学)【推薦C】

#### ■AO入試（セ試を課す）■

●岡山大―教育【AOⅡ】 ●愛媛大―スーパーサイエンス特別コース【AOⅡ】

11月下旬現在、前述の九州大AO入試Ⅱのほか、推薦入試では、金沢大―人間社会(学校教育, 地域創造)【推薦Ⅱ】が2月4日へ、福島県立医科大―医が2月6日へ日程変更、高崎経済大―経済【推薦B・セ試利用自己】が選抜試験（面接）の中止を発表している。

## 私立大一般入試（主な大学）

各大学の日程は9月末現在の公表による。

### ■北海道・東北地区■

●北海道医療大―看護福祉, 歯, 心理学, 薬【一般前期※】 ●東北福祉大―健康科学(保健看護, リハビリテーション<作業療法>, 医療経営管理), 子ども科学, 総合マネジメント, 総合福祉(社会福祉)【A日程学部分割】

### ■関東・甲信越地区■

●国際医療福祉大―医療福祉, 保健医療, 薬, 小田原保健医療, 福岡リハビリテーション, 福岡看護【前期B日程】 ●高崎健康福祉大―健康福祉, 保健医療, 薬【A日程※】 ●埼玉医科大―医【前期(1次)], 保健医療【前期(2次)] ●城西大―経営, 経済, 現代政策, 薬, 理(化学, 数)【A日程※】(試験日自由選択は理(化学)以外) ●千葉工業大―工, 社会システム科学, 情報科学【A日程※】 ●北里大―医【一般入試(1次)] ●順天堂大―医療看護【前期(1次)] ●昭和大―歯【セ試Ⅰ期(個別), 選抜Ⅰ期], 保健医療, 薬【セ試(個別), 選抜Ⅰ期] ●高千穂大―経営(起業・事業経営コース以外), 商, 人間科学【前期※】 ●拓殖大―外国語, 工(国際エンジニア以外), 国際, 商, 政経【全国・特別奨学生】 ●東邦大―医(医)【一般入試(2次)] ●日本医科大―医【一般入試(1次)] ●和光大―経済経営, 現代人間, 表現【前期全学・特待生】 ●神奈川工科大―応用バイオ科学, 工, 情報, 創造工【A日程※】 ●相模女子大―栄養科学, 学芸, 人間社会【B日程】 ●女子美術大―芸術【A日程】 ●東洋英和女学院大―国際社会, 人間科学【一般入試】 ●帝京科学大―こども, 医療科学, 生命環境【前期※】 ●清泉女学院大―人間【A日程】

### ■北陸・東海地区■

●静岡文化芸術大―デザイン【セ試前期(個別)] ●愛知医科大―看護【一般】 ●愛知工業大―経営, 工, 情報科学【前期M方式】 ●金城学院大―現代文化, 人間科学, 生活環境, 文, 薬【前期※】 ●中部大―応用生物, 経営情報, 現代教育, 工, 国際関係, 人文, 生命健康科学【前期A・B方式※】 ●東海学園大―経営, 人間健康, 人文【Ⅰ期※】 ●名古屋学院大―スポーツ健康, リハビリテーション, 外国語, 経済, 商【前期※】 ●皇學館大―現代日本社会, 教育, 文【前期A方式※, 前期B方式, 前期B方式＋セ試(個別)]

### ■関西地区■

●京都産業大―経済, 経営, 法, 外国語, 文化, 理, コンピュータ理工, 総合生命科学【前期3科目型※, 前期3科目型セ試プラス(個別)※, 前期2科目型】(外国語の【前期3科目型セ試プラス(個別)】は言語以外) ●京都女子大―家政, 現代社会, 発達教育, 文【前期A方式※, 前期B方式, 前期C方式セ試併用(個別)] ●同志社女子大―学芸(音楽)【前期】, 学芸(音楽以外), 現代社会, 生活科学(人間生活), 表象文化【前期2教科※】 ●龍谷大―経営, 経済, 国際文化, 社会, 文, 法【A日程※】 ●大阪芸術大―芸術(デザイン, 写真, 建築, 映像, 芸術計画, 舞台芸術, 演奏)【一般(専門, セ試＋専門(個別))】 ●大阪電気通信大―医療福祉工, 金融経済, 工, 情報通信工, 総合情報【前期A日程※】 ●関西医科大―医【一般(1次)] ●近畿大―法, 経済, 経営, 理工, 薬, 学芸, 農, 生物理工, 工, 産業理工, 総合社会【前期A日程※】, 医【前期】 ●桃山学院大―国際教養, 社会, 法, 経済, 経営【前期A日程※】 ●神戸女学院大―音楽【前期A日程】, 人間科学, 文【前期B日程※】 ●神戸薬科大―薬【前期】 ●畿央大―教育, 健康科学【前期C日程※】

### ■中国・四国地区■

●岡山理科大―工, 総合情報, 理【前期SA方式※】 ●川崎医科大―医【一般(2次)] ●ノートルダム清心女子大―人間生活, 文【前期※】 ●広島工業大―環境, 工, 情報【A日程※】 ●広島女学院大―生活科学, 文【特待生, 前期A・B日程】 ●福山大―経済, 工, 人間文化, 生命工, 薬【前期A日程※】

### ■九州地区■

●九州産業大―芸術【芸術学部実技前期】 ●筑紫女学院大―文【一般A】 ●福岡女学院大―人間関係【前期】

※試験日自由選択制で1月30日・31日に該当する日程を含むもの。

本インフルエンザ特集4ページは、旺文社「螢雪時代1月号」・進学応援サイト「パスナビ」トップページに掲載。『パスナビ』では続報も随時掲載予定です。(http://www.passnavi.com/)